



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 松本 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中村 健一 (TEL) 03-6837-5000(代)  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,166	△3.5	△184	—	△161	—	△174	—
2024年3月期第1四半期	3,283	△5.7	△192	—	△166	—	△182	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △175百万円( —%) 2024年3月期第1四半期 △178百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△5.17	—
2024年3月期第1四半期	△5.40	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	13,693	8,090	58.3
2024年3月期	14,545	8,401	57.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,979百万円 2024年3月期 8,288百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,200	2.3	0	—	50	—	0	—	0.00
通期	14,900	3.0	250	—	350	—	200	—	5.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	37,371,500株	2024年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,535,312株	2024年3月期	3,534,612株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	33,836,753株	2024年3月期1Q	33,831,135株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(収益認識関係) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業区分別売上高は、外部顧客への売上高を、事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んだ売上高をそれぞれ記載し、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当連結会計年度につきましては、出版事業の収益力の低下で営業損失を計上するに至った前連結会計年度の状況を受け、出版事業を中心とした事業構造改革による不採算製品の整理及び固定費の削減をベースに、商品付加価値の向上による収益性の回復に取り組むことで、営業利益の黒字転換を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の出版・電子出版事業の状況といたしましては、雑誌・ムックは不採算製品の整理等により刊行点数は減少したものの、価格の引き上げと販売良化で増収、既刊書籍は返品が想定より遅れ、出荷は弱含んだものの若干の増収、新刊書籍は事業構造改革に伴い刊行点数が大きく減少、前期の大型書籍（ChatGPT関連）の反動も加わり大幅な減収となりました。また、コンテンツ事業全体では、デジタル広告を中心としたネットメディア・サービス事業が堅調な推移となったものの、出版・電子出版事業の減収やターゲットメディア事業の減収に加え、前期にあった音楽アーティスト関連の大型受託案件の反動等により、売上高は前年同期（2,663百万円）に比べ5.5%減少し、2,516百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業が堅調に推移したことに加えて、デジマートの取引高が堅調に推移した影響等で、売上高が前期（619百万円）に比べ4.9%増加し、650百万円となりました。

これらの結果、売上高は、出版・電子出版事業の減収により、前年同期（3,283百万円）に比べ3.5%（116百万円）減少し、3,166百万円となりました。営業利益につきましては、前期の大型書籍の反動等をカバーし限界利益率が若干改善したことに加え、事業構造改革の実施等で固定費が想定通り削減されたことで減収の影響をカバーし、前年同期（192百万円の損失）に比べ損失が7百万円減少し、184百万円の損失となりました。経常利益につきましては、前年同期（166百万円の損失）に比べ損失が5百万円減少し、161百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（182百万円の損失）に比べ損失が7百万円減少し、174百万円の損失となりました。

(セグメント別の概況)

#### ① IT

ITセグメントの売上高につきましては、新刊書籍の刊行点数の減少に加え、前期に大きなヒットとなったChatGPT関連書籍の反動等で、出版・電子出版は前年同期（602百万円）に比べ16.7%減少し501百万円となりました。また、デジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<https://www.watch.impress.co.jp/>）において、広告収入が増加したことに加えて、アフィリエイトが堅調に推移したことにより、ネットメディア・サービス事業は前年同期（372百万円）に比べ12.6%増加し419百万円となりました。ターゲットメディア事業は、イベント収入は堅調な推移となったものの、前期に引き続きターゲット広告が低調に推移し、前年同期（209百万円）に比べ6.6%減少し195百万円となりました。ソリューション事業においては、受注件数は増加も受注単価の低下により、前年同期（102百万円）に比べ12.8%減少し89百万円となりました。これらの結果、コンテンツ事業の売上高は前年同期（1,286百万円）に比べ6.3%減少し、1,205百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の書籍の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期（68百万円）に比べ1.1%増加し69百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（1,359百万円）比5.9%減の1,278百万円となりました。セグメント利益では、収益性が改善し販売管理費が減少したものの、大幅な減収により、前年同期（85百万円）と比べ利益が16百万円減少し、68百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントの売上高につきましては、新刊書籍の刊行点数が増加したものの、前期にあったアーティスト関連の大型受託案件の反動による減少を補いきれず、コンテンツ事業の売上高は前年同期（390百万円）に比べ5.4%減少し、369百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入が堅調に推移したことにより、売上高は前期（106百万円）に比べ12.3%増加し、119百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（496百万円）比1.6%減の488百万円となりました。セグメント利益では、収益性が改善したものの、減収と事業開発投資の増加により、前年同期（12百万円の損失）と比べ損失が8百万円増加し、20百万円の損失となりました。

③ デザイン

デザインセグメントの売上高につきましては、既刊書籍が返品品の減少で増収となったものの、事業構造改革に伴う刊行点数の減少等により、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（160百万円）比10.7%減の143百万円となりました。セグメント利益では、減収となったものの、事業構造改革の実施等による収益性の改善と販売管理費の削減により、前年同期（43百万円の損失）と比べ損失が29百万円減少し、13百万円の損失となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントの売上高につきましては、雑誌販売が堅調に推移したことや、フィギュアスケート関連の大型ムック本がヒットしたことに加え、新刊書籍の刊行点数増により、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（326百万円）比10.1%増の359百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が増加したものの、増収と収益性の改善により、前年同期（34百万円の損失）と比べ損失が9百万円減少し、25百万円の損失となりました。

⑤ 航空・鉄道

航空・鉄道セグメントの売上高につきましては、事業構造改革に伴う刊行点数の減少等で、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「航空・鉄道」の売上高は、前年同期（324百万円）比18.2%減の265百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下を、事業構造改革の実施等による販売管理費の減少で補い、前年同期（62百万円の損失）と比べ損失が3百万円減少し、59百万円の損失となりました。

⑥ モバイルサービス

モバイルサービスの売上高につきましては、受託案件が減少したものの、電子出版の販売増により、コンテンツ事業の売上高は前期（37百万円）並みの、38百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業が好調に推移したことにより、売上高は前期（358百万円）と比べ5.3%増加し、377百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（397百万円）比4.7%増の416百万円となりました。セグメント利益では、増収となったものの、収益性の低下と販売管理費の増加により、前年同期（91百万円）と比べ利益が11百万円減少し、79百万円となりました。

⑦ その他

その他セグメントにつきましては、新規プラットフォームサービスとして事業開発のフェーズにあるオンデマンドプリントTシャツモール「pTa.shop」（<https://p-t-a.shop/>）の取り扱いが増加したものの、受託案件が減少したことにより、売上高は前年同期（393百万円）比1.8%減少の385百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が減少したものの、減収に加えて収益性が低下したことにより、前年同期（46百万円の損失）と比べ損失が15百万円増加し、61百万円の損失となりました。

⑧ 全社

全社区分につきましては、純粹持株会社である当社のみが属しており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラ使用料の手数料収入や経営管理業務の受託を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の減少等により、前年同期（631百万円）比21.1%減の498百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が減少したものの、減収により、前年同期（183百万円）と比べ110百万円減少し、72百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節的変動要因による受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ852百万円減少し13,693百万円となりました。

負債につきましては、季節的変動要因による仕入債務等の減少や賞与引当金の減少、有利子負債の返済等により、540百万円減少し5,603百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いによる減少に加えて、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、311百万円減少し8,090百万円となりました。

自己資本は7,979百万円となり、自己資本比率は58.3%と前連結会計年度末（57.0%）と比べ1.3ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の動向につきましては、ネットメディア及びプラットフォーム事業が想定を上回る推移となったものの、ターゲットメディア事業は弱含みに推移し、出版・電子出版事業においては、事業構造改革の影響で若干の新刊刊行の遅れが発生、既刊書籍についても返品の減少等、良化のスピードが想定よりも遅れる状況となり、利益水準といたしましては、想定を下回る経過となっております。

第2四半期連結会計期間の見通しにつきましては、ネットメディア及びターゲットメディア事業は弱含みな推移を想定しているものの、プラットフォーム事業については、引き続き堅調な推移を見込んでおります。また、出版・電子出版事業におきましては、既刊書籍は改善が期待できる状況に変化しつつあり、新刊の刊行点数も第1四半期に比べて増加する見通しであることから、新刊の販売動向等がポイントとなることを想定しております。なお、固定費については、想定以上に低い水準で推移する見通しです。

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、第1四半期の経過は想定を下回る状況であるものの、第2四半期の新刊の販売動向等を見極める状況であり、現時点では期首の予想から変更はありません。なお、業績への影響が明らかになった場合、速やかに開示いたします。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、様々な不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,914,484	5,238,627
受取手形、売掛金及び契約資産	4,830,195	3,662,622
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	1,247,077	1,367,693
仕掛品	226,928	215,916
返品資産	268,628	176,421
その他	677,085	706,846
貸倒引当金	△622	△588
流動資産合計	12,263,777	11,467,539
固定資産		
有形固定資産	404,307	384,798
無形固定資産		
ソフトウェア	203,188	187,239
のれん	42,101	38,585
その他	14,945	14,939
無形固定資産合計	260,235	240,765
投資その他の資産		
投資有価証券	821,570	807,853
繰延税金資産	359,747	359,747
その他	435,925	432,613
投資その他の資産合計	1,617,242	1,600,214
固定資産合計	2,281,785	2,225,777
資産合計	14,545,562	13,693,317
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,462,490	1,179,807
短期借入金	350,000	380,000
1年内返済予定の長期借入金	121,875	100,000
未払法人税等	65,973	22,861
返金負債	493,263	366,108
賞与引当金	153,135	33,498
役員賞与引当金	—	5,985
その他	1,574,937	1,606,747
流動負債合計	4,221,674	3,695,009
固定負債		
長期借入金	50,000	37,500
繰延税金負債	—	153
退職給付に係る負債	1,639,966	1,640,078
長期末払金	48,229	47,411
その他	184,213	182,940
固定負債合計	1,922,409	1,908,083
負債合計	6,144,084	5,603,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,684,366	1,684,366
利益剰余金	1,943,653	1,633,357
自己株式	△629,632	△629,745
株主資本合計	8,339,408	8,028,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,586	1,889
退職給付に係る調整累計額	△53,861	△51,026
その他の包括利益累計額合計	△51,274	△49,136
非支配株主持分	113,344	110,362
純資産合計	8,401,478	8,090,224
負債純資産合計	14,545,562	13,693,317

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,283,134	3,166,973
売上原価	2,100,685	2,014,982
売上総利益	1,182,448	1,151,990
販売費及び一般管理費	1,374,832	1,336,921
営業損失(△)	△192,383	△184,930
営業外収益		
受取利息	1	38
受取配当金	478	756
持分法による投資利益	24,308	17,397
為替差益	119	494
その他	2,518	6,282
営業外収益合計	27,426	24,970
営業外費用		
支払利息	1,225	1,164
投資有価証券評価損	516	363
その他	5	—
営業外費用合計	1,747	1,527
経常損失(△)	△166,704	△161,488
税金等調整前四半期純損失(△)	△166,704	△161,488
法人税、住民税及び事業税	18,733	16,275
法人税等調整額	△358	167
法人税等合計	18,374	16,442
四半期純損失(△)	△185,079	△177,930
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,248	△2,982
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△182,830	△174,948

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△185,079	△177,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,950	△697
退職給付に係る調整額	2,516	2,835
その他の包括利益合計	6,467	2,137
四半期包括利益	△178,612	△175,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176,363	△172,810
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,248	△2,982

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	39,607千円	39,192千円
のれんの償却額	7,987千円	3,515千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	1,286,269	390,592	155,296	323,811	324,693	37,782	2,518,447	144,770	—	2,663,217
メディア& サービス事業	1,183,633	336,012	155,296	304,501	312,568	21,780	2,313,793	30,586	—	2,344,379
出版・電子出版	602,210	307,670	153,936	289,391	306,247	21,780	1,681,237	26,899	—	1,708,137
ネットメディア ・サービス	372,226	28,342	1,360	15,109	6,320	—	423,359	3,687	—	427,046
ターゲット メディア	209,196	—	—	—	—	—	209,196	—	—	209,196
ソリューション 事業	102,635	54,579	—	19,310	12,125	16,001	204,654	114,183	—	318,837
プラットフォーム 事業	68,607	106,126	—	—	—	358,303	533,037	86,878	—	619,916
顧客との契約から 生じる収益	1,354,877	496,719	155,296	323,811	324,693	396,086	3,051,484	231,649	—	3,283,134
外部顧客への売上高	1,354,877	496,719	155,296	323,811	324,693	396,086	3,051,484	231,649	—	3,283,134
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,480	2	5,337	2,778	24	1,343	13,967	161,389	△175,356	—
計	1,359,357	496,722	160,633	326,590	324,718	397,429	3,065,451	393,038	△175,356	3,283,134
セグメント利益又は セグメント損失(△)	85,745	△12,402	△43,825	△34,786	△62,454	91,277	23,554	△46,324	△169,612	△192,383

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△169,612千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△175,356千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△417,342千円、セグメント間の営業費用の取引消去423,085千円が含まれております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、株式会社Impress Professional Worksは、グループの組織再編に伴い、全社機能を株式会社インプレスホールディングスに事業譲渡しました。譲渡した全社機能については引き続き調整額に含めております。また、株式会社Impress Professional Worksは、グループ共通の事業基盤(ビジネス・プラットフォーム)の構築・運営に特化した会社へ再編したことにより、称号を株式会社IPGネットワークに改め、「その他」に含めております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	1,205,833	369,317	138,172	359,161	265,631	38,070	2,376,187	140,323	—	2,516,510
メディア& サービス事業	1,116,358	345,614	138,172	339,138	258,357	22,844	2,220,487	42,329	—	2,262,816
出版・電子出版	501,900	322,669	137,685	321,696	247,406	22,844	1,554,203	33,502	—	1,587,705
ネットメディア ・サービス	419,098	22,944	487	17,442	10,951	—	470,924	8,826	—	479,751
ターゲット メディア	195,359	—	—	—	—	—	195,359	—	—	195,359
ソリューション 事業	89,474	23,702	—	20,023	7,274	15,225	155,700	97,994	—	253,694
プラットフォーム 事業	69,369	119,171	—	—	—	377,293	565,833	84,628	—	650,462
顧客との契約から 生じる収益	1,275,202	488,488	138,172	359,161	265,631	415,363	2,942,020	224,952	—	3,166,973
外部顧客への売上高	1,275,202	488,488	138,172	359,161	265,631	415,363	2,942,020	224,952	—	3,166,973
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,596	230	5,339	311	24	774	10,275	160,844	△171,120	—
計	1,278,798	488,718	143,512	359,473	265,656	416,137	2,952,296	385,796	△171,120	3,166,973
セグメント利益又は セグメント損失(△)	68,831	△20,782	△13,983	△25,251	△59,106	79,750	29,457	△61,380	△153,008	△184,930

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△153,008千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△171,120千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△396,891千円、セグメント間の営業費用の取引消去415,002千円が含まれております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。